

☀ プログラムポリシー

本プログラムでは、履修生が自らの専門分野の研究を深く追究するだけでなく、視野を広げ、異分野や新分野にも分け入っていきける力を獲得することを目的とします。そのために履修生は、所属研究科・専攻等での専門課程科目に加え、本プログラムが提供する特別科目を履修し、産・官・学の各セクターにおいて、科学技術で社会をけん引できるような人物となることを目指します。

☀ プログラム期間

M2 から D3 までの 4 年間のプログラムです。
D1 からの履修も可能です。

☀ 対象学生

本学理学研究科、工学研究科、基礎工学研究科、情報科学研究科のいずれかの研究科に所属する大学院生です。

☀ 選抜と修了

- ・博士前期課程1年次の2～3月に入学選抜試験を実施。(書類選考及び面接試験)
- ・途中の Qualifying Examination(QE)
と修了試験に合格し、所属する研究科で博士の学位を取得した学生には「修了証」が授与されます。(選抜試験、QE、修了試験は、ユニット単位で行います)

大阪大学理工情報系オナー大学院プログラム事務局
〒560-0043 豊中市待兼山町 1-1 理学研究科 B101
TEL (06)6850-5293(内線 5293)
E-Mail: honor-jimu@office.osaka-u.ac.jp
<https://www.sth.osaka-u.ac.jp>



イノナカノカワズ、タイカイモシロウ！
井の中も知らねばダメ。でも外の世界も。
大阪大学公式マスコットキャラクター「ワニ博士」

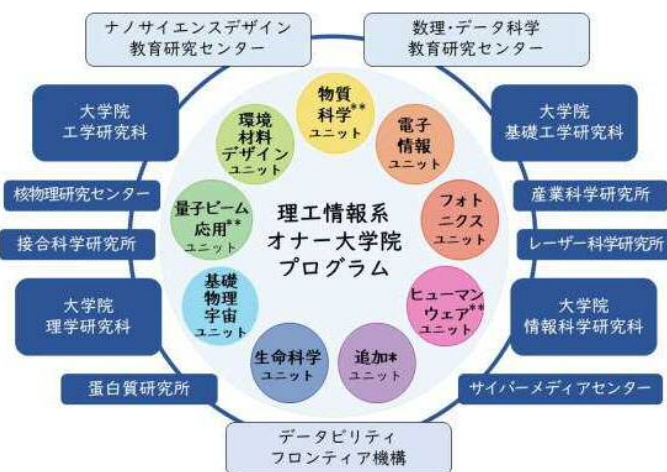
大阪大学 理工情報系 オナー大学院プログラム



☀️ ユニットおよび参加部局

理工情報系の全研究科、研究所、センターがタッグを組んで、部局を超えたユニットを構築しています。学生は、いずれか一つのユニットに属することになります。

- 電子情報ユニット
- フォトニクスユニット
- 生命科学ユニット
- 基礎物理宇宙ユニット
- 環境材料デザイン
- 物質科学ユニット
- ヒューマンウェアユニット
- 量子ビーム応用ユニット



*2021年4月開設予定

**物質科学とヒューマンウェアの2ユニットは、博士課程教育リーディングプログラムの一環、量子ビーム応用ユニットは卓越大学院プログラムの一環であるため、プログラム内容や募集要項が若干異なります

カリキュラム

プログラム修了要件単位数は10単位。

- ・研究室ローテーション(1~3単位)
- ・国内研修或は海外研修(1~3単位)
- ・科学技術英語科目(2単位)
- ・ELSI(倫理・法・社会問題)科目(2単位)
- ・異分野(他専攻・他研究科)科目(2単位)

これらの一部を所属研究科の博士前期課程・後期課程修了要件単位に含めることは可とします。



研究室ローテーション

同一ユニット内の他研究室(他専攻・他研究科等を推奨)に3週間以上滞在して、新しい研究手法、新しい研究課題に取り組みます。これにより、自分の研究室では得ることのできない能力の獲得を目指します。



給付型奨学金制度

博士前期課程2年次学生には年額24万円、博士後期課程学生には年額50万円を、審査のうえ支給します。給付型奨学金は、「学資に充てるため給付される金品」として「非課税所得」となるので、課税対象にはなりません。

♥️ 受給資格

支給年度において、次の各号に掲げる全ての基準に該当することとします。

- 1) 休学をしていないこと。
- 2) 独立行政法人日本学術振興会の特別研究員(DC)として採用されていないこと。
- 3) 国費留学生として、日本政府(文部科学省)奨学金を受給していないこと。
- 4) 月額10万円を超える給付型奨学金を受給していないこと。



国内研修/海外研修

国内・海外の少なくともどちらかの研修を行うことが必須です。3週間で1単位が認定されます。研修先や研修内容は、事前に担当教員と話し合って決めることができます。博士論文研究に役立つ研修をすることもできますが、自らの研究とは直接関係のない実習や研究を行うことも、視野を広げる上で重要です。

■ 国内研修先候補(一部)

(株)ABEJA
NTTコミュニケーション科学基礎研究所
NTT 物性科学基礎研究所
オムロン(株)
花王(株)
(株)カネカ
川崎重工業(株)
紀本電子工業(株)
京セラ(株) JNC(株)
シスメックス(株)
(株)島津製作所
清水建設(株)
シュプリンガー・ネチャー
住友化学(株)
住友林業(株)
積水化学工業(株)
ダイキン工業(株)

(株)ダイセル
大日本印刷(株)
(株)竹中工務店
(株)タダノ
知能技術(株)
(株)千代田ラフト
DMG 森精機(株)
TDK(株)
デュボン(株)
(一財)電力中央研究所
(株)東芝
東レ(株)
凸版印刷(株)
(株)巴川製紙所
日鉄ケミカル&マテリアル(株)
日本製鉄(株)
パナソニック(株)

日立化成(株)
(株)日立製作所
(株)富士通研究所
富士フィルム(株)
(株)堀場製作所
マツダ(株)
三菱ケミカル(株)
三菱重工業(株)
三菱電機(株)
(株)村田製作所
ヤマハ発動機(株)
楽天(株)
産業技術総合研究所
情報通信研究機構
物質・材料研究機構
分子科学研究所
理化学研究所 等

■ 海外研修先候補(一部)

インド工科大学
デリー大学
ムンバイ大学
インドネシア大学
スディルマン将軍大学
スラバヤ工科大学
パジャジャラン大学
バンドン工科大学
ソウル大学
金烏工科大学
国民大学
シンガポール国立大学
コーンケン大学
スラナリー工科大学
泰日工業大学
チェンマイ大学
チュラロンコン大学

マヒドン大学
国立清華大学
国立台湾大学
華中師範大学
吉林大学
湖南大学
広東工業大学
上海師範大学
南京大学
蘭州大学
香港科技大学
トリブバン大学
ダッカ大学
デ・ラ・サール大学
ハノイ国家大学
マレーシア工科大学
サダトシティ大学

マツコリー大学
州立ロンドリーナ総合大学
ジェノア大学
アイトホーフェン工科大学
グローニンゲン大学
アルファビ・カザフ国立大学
スウェーデン王立工科大学
アーヘン工科大学
国立トゥールーズ理学院
リエージュ大学
ワルシャワ工科大学
リスボン大学
シャリフ工科大学
イスタンブール大学
サンパウロ大学
トロント大学
ウースター工科大学 等

奨学金とは別に、国内研修、海外研修にかかる費用についても支援します。